

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区
大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL:072-875-1200
FAX:072-875-0590
E-mail:office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分~1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL:072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



創立 1967年 12月 26日

- 会長 上田 正義
- 幹事 小川 芳男
- 会報委員長 杉原 巨峰

大東ロータリー会長テーマ

「今を生きる、そして未来につなげる」

2013年~2014年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーを實踐し
みんなに豊かな人生を

国際ロータリー会長
ロン・D・バートン

平成 26年 1月 21日

No.2234 H26.1.7 (No.2233の例会記録)

今週の卓話 (1月21日)

「趣味について」

高島 登 会員

次週の予定 (1月28日)

「ほけん今昔話」

徳山 泰之 会員

先週の例会報告

◆ 出席報告 (1月7日分)

会員数 42名 出席数 37名 欠席者 1名
特定免除 4名 その他免除 0名
出席率 97.37%

前々回 12月17日分

ホームクラブの出席者 36名 97.30%
メイクアップの結果 37名
特定免除 6名 その他免除 0名
欠席者 0名 修正出席率 100.00%

今月のテーマ

「ロータリー理解推進月間」

ロータリーソング

「君が代」「大東ロータリーソング」「四つのテスト体操」

ニコニコ箱

裏面に記載



皆様新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。

今年もご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。平素は、大東ロータリークラブ運営には、会員の皆様方には多大なるご協力を頂きまして心より感謝申し上げます。



お陰様で前半の事業はとどこうりなく遂行されました。ありがとうございます。

皆様方におかれましては、輝かしい健やかな新年をお迎えされたかと存じます。私も元旦に我が家の恒例行事であります京都の本山にお参りに行ってまいりました。今年で59年目になります。昨今京都に限らず町のお正月風景が年々無くなっていくようで、子供ころのお正月の晴れやかさが少なくなって行く事に一抹の寂しさを感じます。我々日本人は昔からお正月を区切りとして新たな気持ちで新年を迎える事により、昨年までの事をリセットしてまいりました。お正月は1年に1回の日であります。あと何回リセット出来るか解りませんが、元旦に拘らず日々リセットするのも一つかもしれません。あと358日で来年のお正月です。残りわずかです。会長職を仰せつかり6ヶ月が過ぎ職務半ばですが、あと6ヶ月では満足な事は出来ないと思いますが、「点々あい連ねて線をなす。線々あい並べて面をなす。面々あい連ねて体をなす。」点と点を連ねて一本の線をつくる。その線を並べていくと面になる。その面を重ねていくと一つの体になる。日々誠実に、己の努めに邁進し続けてまいる所存です

残された日々を、馬車馬の如く大東ロータリークラブの為にお仕事させていただきます。サラブレッドのようにスマートで早くはありませんが。

私は会長をさせていただくようになって、副会長を含めてこの1年半私のロータリー感が変わりました。もちろん大変な部分もありますが、会長を努めながらロータリーを続けることで、それをまた応援・協力してくださる会員諸兄がいらっしゃる事を感謝する気持ちを忘れてはならない、と常々自分に言い聞かせる日々です。また会長として色々な場面での経験は一人のロータリアンとして今までできなかった体験ができ勉強にもなります。また会長職が出来る環境・健康面にも感謝します。是等は全て皆様方のお陰であります。ありがとうございます。

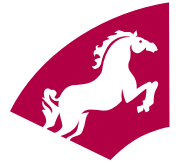
今年は「午年」であります。私は家族の誰かが干支の當年になると、何歳になったなと思い、特に「午年」は亡くなった妻が、生きていたら60歳か親父が生きてい





たら 84 歳になるのか、長男は 36 歳になるのかと思ひながら今年除夜の鐘を聞きながら新年を迎えました。

最後になりますが天馬の如く雲を蹴り・風を蹴り・疾風の如く爽やかな年であります様に、皆様方のご健勝・ご多幸を心より御祈願申し上げます。ありがとうございます。



大川会員による新年にちなんで一言、そして乾杯！

幹事報告

小川 芳男 幹事

【報告事項】

新世代奉仕委員会より剣道大会の件（第 30 回）について

【議 題】

(1) 大阪桐蔭高等学校卒業証書授与式お祝い

.....承認

(2) 2014～2015 年度 地区委員の推薦について

第 2660 地区インターアクト委員会委員に、東村正剛会員

.....承認

(3) 春のライラの登録について

ロータリアン登録料 6,000 円 会計予算より例年どおり 3 名登録

半数（21 名）の登録希望あり、主幹の大東中央 RC は子クラブである

事もあり登録者を募る





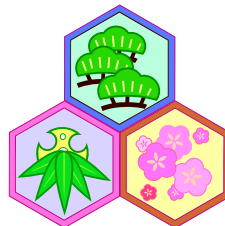
委員会報告



◎ニコニコ箱

間 紀夫 副委員長

- ・誕生日 自祝 岡本 日出士君
- ・誕生日 自祝 大西 寛治 君
- ・誕生日 自祝 間 紀夫 君
- ・あけましておめでとうございます 本年もよろしく申し上げます
上田 正義 君
- ・新年あけましておめでとうございます 小川 芳男 君
- ・2014年1月5日京都競馬場にてトラキチシャチョウ号が優勝しました 自祝
親睦会 欠席お詫び 池田 實 君
- ・早退 お詫び 森山 信一 君
- ・新年明けましておめでとうございます 高島 登 君
- ・スーパーベーコンマン有難う！！ 佐藤 多加志君
- ・お正月休みはおいしい物をたくさんいただきました 感謝 木村 克己 君
- ・ミスターベーコンありがとうございました！ 中野 秀一 君
- ・A HAPPY NEW YEAR ! 今年も宜しく申し上げます 東村 正剛 君
- ・新年のお慶びを申し上げます 中嶋 啓文 君
- ・本年もニコニコ宜しく申し上げます 早退お詫び！ 東野 喜次 君
- ・サブちゃん紅白を長い間ご苦勞さまでした 感謝 徳山 泰之 君
- ・あけましておめでとうございます
本年もよろしく申し上げます 森岡 信晶 君
- ・新年おめでとうございます
今年もよろしく申し上げます 感謝 山田 伸 君





◎会報委員会

福富 経昌 委員長

【横組みページ】

☆R I 会長メッセージ「家族をロータリーに迎え入れる」：若い世代をロータリーの会員として迎え入れることが、われわれにとって絶対に必要なことです。小さい子供を持つ会員に配慮しましょう。家族のカレンダーにロータリーを書きこみ、家族で参加しましょう。



☆1 月はロータリー理解推進月間：「知ること…知らせること」です。①2012-13 年度国際ロータリー会長・田中作次氏の「世界の国々で見たこと、感じたこと」 ②「比べてみよう 日本と韓国のロータリー」 ③第 2760 地区の「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」というファンレイジング(活動資金の調達)の活動報告 ④第 2780 地区の「『あつぎ鮎まつり』でポリオ撲滅キャンペーン」の活動報告。

☆Rotary いま……：新しい情報ツールとロータリーの広報活動・・・SNS の活用、しかし何が正しい情報かを見分ける能力が求められる時代でもあります。

☆よねやまだより…ありがとう、ロータリアン！⑩「タイから花束のおかえしを」出雲中央 RC の米山学友・タイ出身のプサコーン・ホンヨックさんのお話。

☆心は共に：東京東江戸川 RC：南相馬の子供たちを招き交流試合、東京小石川・東京上野・東京本郷・東京後楽 RC：東北の子どもたちに夢と希望を==東京ドーム少年野球大会、郡山南 RC：カナダに短期ホームステイ==思い出の夏、第 2530 地区：福島県大学生支援プロジェクト『オーストリア短期派遣』

【縦組みページ】

☆スピーチ：2680 地区・但馬グループ IM 記念講演要旨(2013 年 4 月 7 日)：

丹波あじさい寺観音寺住職・高野山真言宗教学部長小藪実英氏の「空海に学ぶ前向きな心」の講演の中で「生きていたら、楽しいことばかりでなく、辛いこともあります。その時、そのことをどう捉えるかで人生は大きく変わっていきます。辛いことを嫌だ、嫌だと思えば、ストレスになる。負けないぞ、負けない





いぞと思えば、根性となる。前向きに、自分にプラスになるよう捉えて生きていく。これが、人生を有意義に送るコツだと思います」と述べておられます。

☆わがまち……そしてロータリーは山梨県・甲府市です。古いものを大切にし継続が美德の土地柄。

☆友愛の広場：各 RC から種々報告されています。

☆卓話の泉：‘東京タワーあれこれ’、大阪淀川 RC から‘顎関節症について’など興味深い内容の卓話が掲載されています。

☆ロータリーアットワーク：第 2660 地区からは、大阪難波 RC からの報告が掲載されています。その他全国各地の RC から興味ある内容の報告がなされています。



1 月のお花

- (今月) 1 月の誕生日花は、年始めということもあり縁起のいいお花で生けさせて頂きました。
- 松は日本のお正月には欠かせない花材の一つでもあります。
- 「歳寒の三友」と呼ばれ、竹・梅と共におめでたい枝とされています。
- 又、百合の王様カサブランカも「純潔」という花言葉がありますように、年始には純白な思いが込められてお正月には生けられることが多い花です。
- **使用花材** 松・カサブランカ・エビデン・マム (菊)
- お誕生日おめでとうございます。





「年男卓話」

●新しい午の年に想う

堀部 邦夫 会員

古希を過ぎますと一年が本当に早く過ぎていく気がします。「めでたさも中くらいのおらが春」といった句が浮かんできたのはもう一昔前のことです。12年前も年男となって新年卓話を命ぜられました。何をしゃべったかまったく覚えておらずしゃべるネタに大変苦勞していた記憶があります。



さて前置きはこの位にして、ここ1～2年の間に普段から親しく、且つ又尊敬しております先輩の元大学教授からいわゆる[死]についての出版物が3回も送られてきました。タイトルは[死とは何か、いかなる死をいつ求めるか]又は[臨床死生学]といったたぐいのものばかり。昔からこの先生からこんな話や言動もなく、一緒に飲みに行ったり遊びまわっていた人やのにと思いつつ、返信、感想を余儀なくされております関係上、もう一度「人の死」について改めて真面目に考え話をさせていただきます。

人間年をとると死を自分の身近に感じるようになりました。私も一臨床医として救急診療、一般診療に40数年間携わってきましたが、同時に多くの死を看取ってきました。おそらく死亡診断書は千枚以上になるかと思っています。しかし一般に医療には死はありえない、患者さんが亡くなれば医療者側の敗北という図式が依然としてまかりとおっているようにみえます。

終末期医療も含め、生を求めて医療が行われるが故に医療から死がなくなり病院にいけば助かる、死ぬはずないと思うようになってしまったことが医療訴訟の増加につながっているように思います。人がこの世に生を受け、その後唯一決まっている運命はそれに長短はあるにせよ必ず死ぬということでそれには即ち人は死を背負って毎日生きているという覚悟が必要であります。





従来心肺停止をもって人の死と判定、診断してきましたが、移植に関与しては生を求めるが故に、心臓が動いていても法的脳死と判定されたなら、それは人の個体死ということが法律によって定められた事をご存知のことと思います。

さて、一方では今年こそは尊厳死が法制化されるのではないかとされています。では尊厳死とは従来安楽死といわれた次期もあったが、安楽死は人の死に対してあまりにも個人の尊厳と権利を無視している軽々しい表現として、いまでは人の死は尊厳死に統一されています。

尊厳死とは【不治かつ末期】になったときに、自分の意志で死に行く過程を引き延ばすにすぎない延命治療をやめてもらい、人間として尊厳を保ちながら死を迎えることと書いてあります。また、健やかに生き安らかに死ぬ権利として【尊厳死の宣言書】即ちリビングウィルがあり自然な死を求めるために、自発的意思で明示した生前発行の遺言書として

- 1) 不治かつ末期になった場合、無意味な延命装置は拒否する
- 2) 苦痛を和らげる措置は最大限実施してほしい
- 3) 回復不能な遷延性意識障害（持続的植物状態）に陥った場合生命維持装置をとりやめて欲しい

終末期医療にかぎるとしても動いている心臓をとめることにもなり、医療人としては正直また気持ちの重たい問題である。

超高齢者社会を迎えたわが国の医療が転換期にきていることは既に皆様もご存知のことでしょう。誕生から死にいたるまで健康問題はすべて医療職に依存していた日本人は医療費抑制政策の一環として入院期間の短縮や医療方針の自己決定などこれまで経験しなかった医療とのかかわり方をせまられることになりました。

医療費削減を目的として始まったこの改革が凶らずも、私たちに医療本来のありかたに目を向けるきっかけをつくってくれました。人間は自分の生、死を医療者任せにせず、自分自身で自己の人生ドラマを創作、演出し主役を演じるのが本来の姿で、医療職者は患者、家族の人生ドラマの筋書きをつくるのではなく脇役として尊厳ある生と死を支える側に徹することが肝要であります。





●十二支の四字熟語

福富 経昌 会員

今回は方向をかえまして午（馬）にからむ四字熟語を探してきましたのでお話しさせていただきたいと思います。



☆**馬耳東風**：東風すなわち春風が、ウマの耳朶に心地よく吹いてきても、ウマは春を予感しないということで何の興味を示さない意で、人の意見などを心に留めず聞き流すことのたとえ。

☆**塞翁之馬**：「人間(じんかん)万事塞翁が馬」の略：中国北方の塞(とりで)の近くに住んでいた老人のことで、その老人のウマがいなくなったことがきっかけで、次々といろいろな出来事が起こったことより、人生の吉凶・禍福は変転極まりないもので、何が幸せになり、何が不幸になるか見定めがたいこと。

☆**秋高馬肥**：わが国では、さわやかな秋の季節を形容する言葉であるが、本来は秋になり北方の異民族のウマが肥えてくると、きっと越境して攻め込んでくるだろうと警戒感・緊張感をはらんだ表現であり、秋は実りの季節であると同時に、敵騎襲来の時期でもあったのである。

☆**胡馬北風**：北方の「胡」に産したウマは、北風が吹くとそれに身を寄せて懐かしむということから故郷を切に恋い慕う心情をたとえている。

☆**老馬之智**：豊かな経験がもたらす優れた知恵のこと。

☆**管仲随馬**^{かんちゆうずいば}：老人の経験を尊重すること。

☆**指鹿為馬**^{しろうくいば}：人を欺き愚弄する意。間違ったことを強引に押し通すたとえ。バカ…梵語の「痴」を意味する慕何(ぼか)、あるいは「無知」を意味する摩訶羅(まから)から転用か。

☆**竹馬之友**：幼い頃、竹馬に乗って一緒に遊んだ友達を言い、ほのぼのとした心温まる出来事を連想させるが、実はそれと逆で、とげとげしく、傲慢な態度さえうかがわれる話が元になっている。

☆**天馬行空**^{てんばこうくう}：考え方や行動が自由奔放であるさま。また、文章や書の筆勢が奔放で優れているさま。





中野 秀一 会員

私は1966年（昭和41年）丙午の年に生まれました。私の生まれ年である丙午は出生率が前年より25%減少した競争率の低い「ゆるい」年代です。午年の特徴としては、物事を計画的に進めて成し遂げていく事や、負けず嫌いであるなどと良く言われていますが、私自身は大変負けず嫌いであると自覚しています。今年には十干十二支でいう甲午で、新しいものが生まれてくる一年になると言われています。



これまで、不動産業や人材派遣業を手がけてまいりましたが、「負けたくない」という、「負」のエネルギーを経営に立ち向かうエネルギーの源としてきましたが、これからは出来るだけ「共に成長していく」という「正」のエネルギーを源にして行きたいと思っています。

大川会員による乾杯のご挨拶にもありましたが、今年は何か始めるには成功できる良い年であるということですが、私は今年から新規事業として、外車を中心に取扱を行う「自動車販売事業」と、オーダーメイドによる手作りパターを販売する「スポーツ事業」を2月より開始いたします。私にとって経営の多角化は、持てる経営資源の最大活用であると考えています。私の最大の経営資源は「情報」、「人脈」です。これらの経営資源を余すことなく取り込むことにより経営基盤を磐石にしていきたいと思っています。

経営資源を最大限有効に活用して、一年間感謝の気持ちと謙虚さを忘れずに、駿馬のように一年を駆け抜けて行きたいと思っておりますので、これからも宜しくお願い致します。

● I.M. (インターシティミーティング) 開催 ●

ホスト：寝屋川ロータリークラブ
日時：2014年1月25日（土）
登録：13：00（13：30 開会）
場所：アルカスホール（寝屋川市駅前）
講演講師：平田 進也氏
「サービスのプロに学ぶ人の心の掴み方」

多数のご参加よろしくお願い致します。

